

活動紹介!

こども絵画造形 ちゅーりっぷ教室

一昨年本館でスタートした4歳から小学6年生までを対象とした絵画造形教室です。清瀬にも教室があって、15年目になるそうです。工作と絵画を織り交ぜたオリジナルのカリキュラムで、0から1を生み出すクリエイティブな力を身につけることを目指しています。

毎月3回、火曜日の午後、1部と2部に分かれて活動をしています。子どもたちは真剣に、そして楽しそうに活動をしています。



3月の催しから



- 1(日)
 - ・ ST. BERRY CHOIR FESTIVAL
- 8(日)
 - ・ 北多摩二区詩吟発表会
 - ・ 全レクコンサート
- 11(水)
 - ・ ひがしくるめ・祈りの
キャンドルナイト
- 13(金)
 - ・ もっと知って、もっとおいしい
オリーブオイル学習会
- 14(土)
 - ・ 都民公開講座
「脳卒中で寝たきりに
ならないために」
- 15(日)
 - ・ 小堤ピアノ教室発表会
- 21(土)
 - ・ アフロティテベルクワイヤー
25周年記念コンサート
- 22(日)
 - ・ Dominant+カジュアルコンサート
- 29(日)
 - ・ 貝津摩里の伴奏講座



おひなめ

会館事務室から



略語



今月の話題 - 略語

本来の正しい言い方を短くしたものが略語です。短くしても元の意味は同じです。日常会話でごく普通に使われています。マスコミや出版業界、若者の話し言葉などから次から次へと新しいものが作られてきました。ほんやりしてその流れに乗り遅れると、会話についていけず戸惑います。「ガクチカ」(学生時代に力をいれたこと)「リスケ」(リスケジュール)などは初めて聞くと何のことかと思えます。他方で、略語が正式な言い方のようにすっかり馴染んでいるものもたくさんあります。「バイト」「シャーペン」「合コン」「電卓」などは、まったく違和感がありません。

言葉の頭の部分を使ったり(インター)、言葉の一部を組み合わせたり(タワマン)。いろいろな作り方があって、言葉のリズムがよいので、三~四文字が多いようです。

最近よく聞くのは、〇活という言葉です。「就活」に端を発して、「婚活」「終活」などやたらと「活」をつける言葉が増えてきました。「押し活」などは、自分が推薦する人を応援する活動のことですが、思い切り省略しています。こうなると略語というより新造語です。若者の間では、まるで暗号のように分からない言葉を使って仲間内でコミュニケーションをとるために略語が作られる傾向があります。例えば「絶起」。予定通り起床できず絶望したという意味で、「絶望の起床」の略語だそうです。こうなるとなんのことかさっぱりわかりません。使われ続けられるもの。いずれ消えていくもの。使うもよし。使わぬもよし。静かに見守ってまいりましょう。

